

交通安全ルールを楽しく学んでもらおうと、J Aあきた白神とJ A共済連秋田は「J A共済アンパンマン交通安全キャラバン」を能代市文化会館で開催しました。

子どもたちに大人気のキャラクター・アンパンマンに会おうと、総勢約550人の家族連れが集まりました。「アンパンマン」の掛け声でアンパンマンとその仲間たちが登場すると、大歓声があがり会場は大変盛り上がりました。ミュージカル形式で横断歩道を渡る際の注意点などを説明したほか、歌や体操、アンパンマンたちの握手会が開かれ、子どもも大人も笑顔いっぱいになりました。



次代を担う子どもたちを交通事故から守る アンパンマンから交通安全ルールを学ぶ



▲交通ルールやマナーを学んだショー

J Aの窓口担当者が接客技術を競う JAバンクあきたアカデミー窓口コンテスト



▲基本的な応対やお客ニーズの把握などが審査された

第2回J Aバンクあきたアカデミー窓口コンテストが17日、秋田市の秋田口担当者が接客技術を競いました。

県内15J Aから15組(2人1組)が参加し、当J Aからは二ツ井支店の畠山優子係長と大塚美幸さんが出場しました。来店者に年金受取口座をJ Aにしてもらう設定で、自作のデモブックなどを使いJ Aで受け取ることをの特典を説明しました。出場した大塚さんは、「準備段階も含め、窓口セールの話しながら、進め方を改めて考えるいい機会になりました。これからの窓口業務に今回の経験を生かしていきたいです。」と話していました。



▲各支店からも応援団が参加した

能代市立向能代小学校の5年生67人が自分で育てたお米を使い、おにぎりづくりに挑戦しました。

使用したお米は、J A青年部能代北支部の協力のもと、児童たちが田植えから稲刈りまでを行い収穫したもので、「食と農」の大切さを実感できる取り組みとなっています。児童たちが作ったおにぎりは、三角形や丸型をはじめ様々な形ができ、笑顔があふれるおにぎりづくりとなりました。児童からは、「自分たちで育てたお米は、いつも食べているお米よりおいしく感じました。ごはんがもっと大好きになりました」と感想を話してくれました。



みんなで作ったお米でおいしいおにぎりづくり 向能代小学校5年生が『食と農』の理解を深める



▲おいしいおにぎりいっただっきま〜す!

